

令和3年度事業

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

令和4年10月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和3年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和3年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 角脇 一夫
副委員長 野津 真一
委員 小川 静香
委員 金田 洋二郎
委員 名越 玲子

○ 事務評価委員会の開催状況

令和4年 8月26日
令和4年 9月 1日
令和4年 9月 5日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

令和3年 4月27日 定例会

隠岐の島町教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町立隠岐島文化会館照明LED化工事の計画について

隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プールチラー更新工事の計画について

佐々木家住宅保存修理工事の計画について

令和3年 5月27日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第11号）に関する意見について

令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第2号）について

隠岐の島町県立高等学校魅力化事業補助金交付要綱の一部改正について

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

令和3年度教育行政の方針について

令和3年 6月29日 定例会

令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第3号）について
隠岐の島町立小中学校規模適正化検討委員会設置要綱の一部改正について

令和3年 7月27日 定例会

隠岐の島町立小中学校トイレ洋式化工事の計画について

令和3年 8月26日 定例会

令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第5号）について

令和3年 9月29日 定例会

五箇中学校下水道接続工事の計画について
西郷中学校法面災害防除工事の計画について

令和3年10月25日 定例会

隠岐の島町教育委員会事務専決及び代決規程の一部改正について

令和3年11月25日 定例会

令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第4号）に関する意見について
令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第6号）について
隠岐の島町図書館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町図書館利用制限等実施要綱の一部改正について
隠岐の島町教育委員会職員の勤務時間に関する規程の一部改正について
隠岐の島町教育委員会職員服務規程の一部改正について
令和2年度事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について
隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プールに係る指定管理者の選定について

令和3年12月21日 定例会

五箇町民運動場外周道路災害復旧工事の計画について

令和4年 1月26日 定例会

隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について
工事請負変更契約の締結について〔隠岐島文化会館大ホール照明設備改修工事〕

令和4年 2月 8日 臨時会

県費負担教職員の人事の内申について

令和4年 2月24日 定例会

令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第8号）について
令和4年度隠岐の島町一般会計当初予算について
隠岐の島町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について

令和4年 3月24日 定例会

隠岐の島町学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について

隠岐の島町県立高等学校魅力化事業補助金交付要綱の一部改正について
隠岐の島町がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金交付要綱の一部改正について
学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
隠岐の島町社会教育委員の委嘱について
隠岐の島町文化財保護審議会委員の委嘱について
隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の任命について
隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町立隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町スポーツ推進委員の委嘱について
隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和4年 1月26日

小中学校規模適正化検討委員会答申を受けた今後の対応について

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和3年11月25日

都万小学校訪問

公開授業（都万っ子ミーティング）見学

令和3年度事業 教育委員会の主要な事業の点検・評価

事業名の（ ）内は、令和2年度の事業名

番号	事業名	予算科目	担 当
1	学校図書充実事業	教育指導費	総務学校教育課
2	英語指導事業	教育指導費	総務学校教育課
3	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
4	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
5	タブレット端末整備事業（教育情報機器整備事業）	教育指導費	総務学校教育課
6	魅力ある教育推進事業（魅力ある学校づくり事業）	教育指導費	総務学校教育課
7	小学校教材整備等教育振興事業	小学校費 教育指導費	総務学校教育課
8	中学校教材整備等教育振興事業	中学校費 教育指導費	総務学校教育課
9	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
10	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業（青少年育成支援事業）	社会教育総務費	社会教育課
11	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
12	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育総務費	社会教育課
13	保健体育活動補助事業	保健体育総務費	社会教育課
14	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
15	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
16	隠岐の島町図書館管理運営事業（図書館管理運営事業）	社会教育施設費	社会教育課
17	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
18	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
19	公民館活動振興事業 中央公民館	公民館費	中央公民館
20	公民館活動振興事業 布施公民館	公民館費	中央公民館
21	公民館活動振興事業 五箇公民館	公民館費	中央公民館
22	公民館活動振興事業 都万公民館	公民館費	中央公民館

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
予算額	24,725	決算額	24,127	財 源 内 訳			
				特定財源	9,171	一般財源	14,956

【事業の目的】

学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。

【主な事業の概要（実績）】

- 学校司書雇用費（11校） 21,507 千円
- 図書・備品購入費 2,620 千円



学校司書連絡会



新着図書の展示

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

令和2年度から引き続き、学校司書の全校配置を行いました。学校司書の資質向上をめざし、定期的に連絡会を開催し、研修及び情報交換を行っています。

学校司書が選書についてアドバイスしたり、社会状況の変化や学問の進展により正確性や利用価値が低下した図書を廃棄したり等、図書館資料を適切に整備しており、全体で年間貸出し冊数も増加傾向にあります。教科書の単元に沿ったテーマの関連本をそろえることで、より深い学習につなげることができました。また、図書館に学校司書がいることで子どもたちの居場所として大きな役割を果たしています。

中条小学校が、学校司書を含めて取り組んだ「読書活動推進」や「学校図書館を活用した授業づくり」が評価され、「令和3年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けました。

また、学校司書全校配置について本町がどのように施策を進めてきたかについて「公益社団法人全国学校図書館協議会」から原稿依頼があり、機関誌『学校図書館』2022年3月号に寄稿を行いました。

（2）今後の課題

タブレット端末が導入されたことにより、図書の活用機会が減少する恐れがあります。調べ学習等での情報収集の際に、紙の本かインターネット検索かの二者択一に陥らず、取り扱う情報等に応じて適正なメディアを選択できるよう、児童生徒の情報活用能力を育成する必要があります。そのためには、これまで以上に担任・司書教諭・学校司書の連携が大事になってきます。

教育委員会としても今後は、司書教諭とのつながりを強化することが求められます。また学校司書の知識・スキル向上に向けた研修機会を充実させる必要があります。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校司書を全校に配置することで学校図書館機能を充実させ、子どもたちの読書力や学力向上に効果を上げている。 ○ 昨年課題とされていた学校司書の情報交換の場としての連絡会や研修会の開催は資質向上に大いに役立っていると考えられる。今後とも継続していただきたい。 ○ 学校図書館は、学習の場であり、情報収集の場でもある。ICT機器の導入で情報活用能力が、「ICT機器を活用して」というところにスポットがあたっているが、図書館の情報を活用することも選択肢として忘れてはいけないと思う。 ○ 学力向上が叫ばれるが、学力の下支えとしての国語力も重要で、その国語力は読書によって備わっていくとも言われる。読書活動が活発になるよう、今後とも工夫していただきたい。 ○ 学校司書の意欲や専門性を高めるうえで、継続して雇用できるように契約期間などの見直しについて検討を要する。 ○ 各学校で廃棄される図書について有効な利用方法はないか検討を要する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校司書の資質向上や情報交換の場として研修会の開催は今後もぜひ継続を望む。 ○ 学校側（図書館教育研究会、司書教諭）と学校司書の情報交換できる場として共同研修会の開催や先進的な取組の紹介などによって、さらなる図書館教育の充実を期待する。 ○ 連絡会や研修会を重ねることで、良い取組や実践が全校に広がっていくことに期待する。 ○ 町立図書館との連携を図り、学校図書のさらなる充実と読書活動の推進につなげてほしい。 ○ ICTの導入により、調べ学習についてはどうしてもアナログが劣るのは仕方ないと思うが、読書に関しては子供たちはアナログの方が身近で利用しやすいはず。本の内容ばかりでなく、その本の表紙デザインや読み進めていく実感など、本そのものの大切さを学ぶことも必要だと思う。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名	英語指導事業					総務学校教育課	
予算額	11,273	決算額	10,411	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	10,411

【事業の目的】

外国語指導助手（ALT）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の外国語教育充実と国際理解の推進を図ります。

また、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深めていきます。

【主な事業の概要（実績）】

- ALT雇用費 2名 8,341 千円
- ALT小中学校派遣経費（移動交通費） 2,070 千円



小学校での授業風景



中学校での授業風景

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

ALTが授業に参加することで子どもたちが生きた英語を学び、自然な英会話活動を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。小学校においては、ALTが授業の補助に入ることによって、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減し、円滑な授業運営が図られました。

(2) 今後の課題

令和4年度の2学期からは3名体制となります。今後、特別支援学級で教える時間を十分確保するために、増員して4名体制にすることも視野に入れて検討を進める必要があります。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 離島において、外国人による生の言語に触れる機会が乏しい中、本事業の教育的効果は大きい。 ○ 子どもたちが、海外の人や英語に抵抗感なく触れているようでいいと思う。 ○ A L Tの雇用と配置については、可能な限りで増員することを期待し、A L Tの確保に向け引き続き尽力をお願いしたい。 ○ 小学校でも外国語教育が始まり、「使える」英語の力、特に「聞く」「話す」力が重視されるが、A L Tを積極的に活用して、「使える」英語力の向上に努められることを期待する。 ○ 地域における交流に関しては、ジオパークの受け口として商業人に、一言二言で応対できる英会話教室を行うなど提案したい。 ○ A L Tの学校外での国際交流活動は、本来の職務外で負担が大きいのではないか検討を要する。 ○ A L Tの宿泊施設（アパートなど）の状況は、当人にとって満足のいくものとなっているか実態把握を要する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援の必要な児童生徒には、特性に合わせたスタイルで英語に触れる時間を確保したい。4名体制の実現を望む。 ○ 国際社会において英語力は不可欠なスキルとなっている中でA L Tの授業は非常に大切だと思う。A L Tの授業を通して子どもたちが外国人と触れ合う事も貴重な体験である。興味がある子どもたちに対して、授業だけでなく英語クラブ活動なども視野に入れての積極的な学びを期待する。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	28,591	決算額	28,388	財 源 内 訳			
				特定財源	51	一般財源	28,337
<p>【1. 事業の目的】 児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。 また、教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別な支援のための支援員配置経費 25,409 千円 支援員配置（25名） ● 特別支援教育コーディネーター配置経費 2,690 千円 ● 事務費 289 千円 <ul style="list-style-type: none"> 隠岐の島町相談支援チーム活動経費（相談件数 58件） 101 千円 隠岐教育支援委員会活動経費（審査案件 27件） 188 千円 							
<p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>（1）事業の成果 支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で安心して生活し、学習に取り組む姿勢が見られました。 相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。</p> <p>特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気付きや、保護者・保育士への適切な支援や、指導助言を行うことができました。</p> <p>隠岐教育支援委員会の就学相談活動等により、様々な就学についての指導助言を行うことができました。</p> <p>（2）今後の課題 相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。</p>							

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援員を配置していることにより、当該児童生徒の実情に応じた支援指導が充実してきているように思う。 ○ 支援員の確保に努めるとともに、資質向上のための研修を充実させていただきたい。 ○ 対象児童生徒も年々増加し、支援員増加で対応するという現実があるようだが、教員の特別支援教育に対する理解と専門性の向上で対応できる部分も多いと思う。 ○ 学校における特別支援教育に対する研修も必要だと思うが、隠岐の島町全体の特別支援教育のレベルアップをどう図っていくのかも検討の余地がある。 ○ 「障がいのある子どもとその保護者に対して、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行う」という目的に対しては、支援チームの活動で充分なのか、本当に一貫した支援となっているのか、対象の子どもが増加傾向にある中でさらなる体制づくりは必要ないのか等、検討を要する。 ○ 特別な支援が必要とされる子どもについて、どの程度の支援が必要なのか、適時検討し支援員の調整が必要。 ○ コーディネーターの活動について評価できる。 ○ 個々への支援は勿論、今後子供たちが成長する上で必要になるであろう将来的な支援も視野に入れ、関係機関との連携など環境整備もお願いしたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本町の特別支援教育は各種関係機関と連携を図り、相談体制が整備され、支援員の配置も充実している。今後さらに一人ひとりの児童生徒の目指す方向性や適切な対応方法等を支援員と学校側の共通理解を図る場を設けてほしい。 ○ 支援員の配置が進み支援体制が整いつつあることは評価できる。支援員の役割、業務の内容などこまめな発信を重ね、人材確保につなげるとともに特別支援教育の理解推進につなげてほしい。 ○ 支援員の確保も重要だが、保育所と小学校の連携も含めて情報を共有してスムーズに支援できる体制も重要だと考える。 ○ 保育所と小中高の連携の在り方を今一度見直し、強化する必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	26,554	決算額	24,901	財 源 内 訳			
				特定財源	15,960	一般財源	8,941

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

少子高齢化、人口減少が進む中、町内の県立高校存続が本町の人口維持に大きな影響を与えるのは言うまでもなく喫緊の課題です。
 そのために、地域の学校と行政が協働し、高校の魅力を高め県外留学生を含め、生徒確保を推進していきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 高校魅力化コーディネーター配置経費 11,597 千円
 - コーディネーター 4名 9,677 千円
 - 事務費（研修費、学習会他） 1,920 千円
- 県立高等学校魅力化事業補助金 13,304 千円
 - オープンスクール参加宿泊費補助（生徒74名、保護者74名） 1,450 千円
 - 学習支援補助（Classi利用料 195名、入試対策問題集 60点） 1,000 千円
 - 高校寮費等助成事業（対象者58名） 3,695 千円
 - 部活動遠征費補助（2,690円×170名） 458 千円
 - 研修旅行助成事業（隠岐水産高校のみ実施） 1,523 千円
 - 高校生の地域留学（365留学） 5,178 千円

◇隠岐高校オープンスクール



◇隠岐高校オープンスクール（前日のジオパークツアー）



◇隠岐水産高校オープンスクール



◇寮生活（隠岐水産高校 碧水寮）



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

隠岐高校に2名、隠岐水産高校に1名、隠岐養護学校に1名のコーディネーターを配置することにより、高校魅力化事業を推進しました。

高校寄宿舎の寮費助成、オープンスクール参加費の補助を実施し、町外生徒の確保に努めました。隠岐高校16名、水産高校76名の町外生の受入れに寄与しています。

教員数が減となっているため、生徒の学力向上のための学習支援補助としてClassi利用料の助成及び生徒の学力や志望校レベルの問題集購入費の助成を行うなど、学習環境の整備に寄与しています。

また、部活動遠征に係る費用の一部助成による保護者の負担軽減を図りました。なお、研修旅行について、隠岐高校にあっては新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できませんでした。

(2) 今後の課題

令和4年度からコーディネーターを各県立学校に1名ずつ配置することとし、全体では1名減員となるが配置された学校の垣根を超えて、コーディネーターが連携した活動を実施することが求められます。

教育委員会以外の部署において高校への支援を行う事業について、より効果的に事業実施できるよう町の各担当課と調整する必要があります。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名						高校魅力化事業	
						総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的も明確で各事業についても的確に実施されている。特に魅力化コーディネーターの配置は効果が大きいと感じる。 ○ 隠岐の島町教育魅力化推進協議会との関連で混乱する部分もあるが、町としての「教育の魅力化」と、この事業との相乗効果を生み出す工夫がなされることを期待する。 ○ 島外からの高校生が安心して隠岐の島町で生活できるように、人権を尊重し、学力向上に努め、島の魅力を味わわせる様々な取組をしていることを評価したい。 ○ 島外からの生徒誘致を考えると、高校だけでなく島の魅力向上も必要と思う。 ○ 役場各課との連携協力が見えてこない。全町的な取組が、町の発展にも貢献すると思われる。 ○ 地元の中学生が、一人でも多く地元の高校進学を目指すよう県立学校と手を携えて学校の魅力を高めてほしい。 ○ 色々な事業を展開しているが、この取組をもっと地域住民向けにアピールすることが今後高校を選択する中学生や保護者へのPRになると考える。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校、コーディネーター、教育委員会の連携がやはり重要だと思う。 ○ 町と高校が一体となり、この島のスケール感を生かした高校教育（島内県立高校3校との連携・進路指導や学習支援の機会や場・島外生の受け入れ・島前との連携）が展開されることを期待する。 ○ コロナウィルスにより活動が制限された中でコーディネーターは苦勞されていると思う。withコロナに向かってどのような魅力を発信していくか期待する。 ○ 島外からの生徒誘致と並行して、島外へ流出する生徒が増加する傾向について目を向け一考したい。島内の生徒・保護者に対して、各校の魅力の発信を重ねて頂きたい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名	タブレット端末整備事業					総務学校教育課	
予算額	35,849	決算額	35,849	財 源 内 訳			
				特定財源	30,110	一般財源	5,739

【事業の目的】

ICT機器を有効活用した主体的で個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、タブレット端末を整備します。

【主な事業の概要（実績）】

- タブレット端末整備 656台 35,789 千円
- ※R2年度からの繰越事業
(中学校全学年分、小学校5・6年生及び特別支援学級分、教員分)



導入したタブレット端末 (iPad)



充電保管庫に収納

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

令和2年度からの繰越事業として、iPadを656台整備しました。
体育でカメラを活用して自分の動きを確認したり、アプリケーションと組み合わせることで課題・教材の配布や成果物の提出を瞬時に行えたり、ICTの利点を生かした授業づくりに寄与しました。

(2) 今後の課題

1人1台端末環境を実現するために、さらなる端末整備を進める必要があります。あわせて、プロジェクタや大型テレビ等の大型提示装置の整備・更新を進める必要があります。
タブレット端末の活用状況については学校間で差があります。操作方法等に不安がある教員がICT機器を有効活用できるよう、研修機会を充実させる必要があります。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名		タブレット端末整備事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット端末を小学校5・6年生と中学校全学年に整備できたことは、子どもたちのICT教育の充実に効果的であった。 ○ 非常に高価な端末を使用するだけに、先生方の苦労もあると思うが、今後の有効活用に期待したい。 ○ 上記に加え、小学校の低・中学年への端末整備に努めてほしい。 ○ 教職員の活用技術の向上のために更なる研修の充実を、県教育委員会とともに取り組んでほしい。 ○ 眼の健康に十分な配慮をしつつICT機器活用ができるよう小学生の時から指導していただきたい。 ○ 「令和の日本型学校教育」のポイントとして挙げられている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のためには、ICT端末の活用とともに大型提示装置が不可欠。電子黒板やプロジェクターなどの大型提示装置を早急に整備するため、予算確保が強く望まれる。 ○ タブレット端末の家庭学習での活用や、コロナ禍でのオンライン授業への対応等、家庭のネット環境が必要不可欠になっており、各家庭がネット環境を導入しやすくなるよう町としても取り組んでほしい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 ○ ICT機器を有効利用すれば学習や人生の視野が格段に広がっていくことを理解しながら学んでほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名	魅力ある教育推進事業					総務学校教育課	
予算額	25,338	決算額	23,956	財 源 内 訳			
				特定財源	11,615	一般財源	12,341

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

児童数減少による複式学級の対応として、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。
 ふるさと教育を推進するための移動に係る経費の支援を行います。
 中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 複式教育推進事業 6,313 千円
 非常勤講師配置経費（2名）

- ふるさと教育推進事業 522 千円
 スクールバス臨時運行委託料 522 千円

- 中学校各種大会参加費補助 11,131 千円

- 修学旅行費補助 5,990 千円
 - 小学校 修学旅行費 児童 1,895 千円
 - 小学校 修学旅行費 引率 202 千円
 - 中学校 修学旅行費 生徒 3,689 千円
 - 中学校 修学旅行費 引率 204 千円



修学旅行（島根県内）

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
 複式教育推進事業では、複式学級を編成する学校に非常勤講師を配置することにより、児童の学力の向上に貢献することができました。
 中学校各種大会参加費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られました。
 また、修学旅行については、新型コロナウイルス感染防止により、昨年度延期した分も工夫をしながら実施しました。
- (2) 今後の課題
 複式教育推進事業においては、全国的な教職員不足による安定的な人材確保が課題です。
 修学旅行費の補助においては、児童生徒数が少ないほど貸切バス費用の個人負担部分が多くなってしまふことが課題です。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		魅力ある教育推進事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複式教育推進事業における非常勤講師の配置は非効率な部分もあると思うが、子どもたちになるべく公平な環境でたくさんの体験をして欲しい。 ○ 複式教育推進事業における非常勤講師の配置により複式学級の授業の充実と児童の学力向上に貢献した。 ○ 複式教育推進事業の課題である人材確保については、教員退職者の再雇用を積極的に取り組んでほしい。 ○ 学校の独自性を大切にしつつ、隠岐の島町の子供達を町全体で見守り育てるという大きな視点で、各学校の垣根を越えた活動の取組も期待したい。 ○ 中学校各種大会参加費補助や小中学校の就学旅行費の補助については、コロナ禍において保護者の負担軽減に大いに役立った。へき地であるが故の不利益につながらないための事業であり、有効活用されていると思う。 ○ 修学旅行費補助の課題である児童生徒の少ない学校の貸切バス費用の個人負担が多くなることについては、一律に補助する部分とは別に貸切バス費用を補助するなど、負担額軽減にも対応できるよう検討の余地がある。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 7
事業名		小学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課
予算額	10,574	決算額	10,039	財 源 内 訳			
				特定財源	659	一般財源	9,380

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。

いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。

経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 3,706 千円
 - 教育用教材 2,818 千円
 - 教育用指導書 481 千円
 - その他備品等 407 千円

- いじめ対応支援事業 275 千円
 - アンケート検査用紙の購入

- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 6,058 千円
 - 就学援助費 5,925 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 133 千円



パターンブロック（算数）



生物顕微鏡（理科）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

小学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。

児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。

経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。

(2) 今後の課題

I C T機器の活用においてハード面の整備は進めていますが、一部を除いてソフトウェアの導入・活用には至っていません。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 7
事業名		小学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材備品は子どもたちにとって授業の興味関心を高める重要な物品であり、各学校においては有効に活用してほしい。 ○ 小学生段階では、物事を視覚的・感覚的・体験的に捉えることができるような教材が求められるので、この事業費が有効に活用されていると思う。 ○ 今後、ICT機器を効果的に活用することによって、容易に視覚的・感覚的理解を深めることができると思われる。プログラミング教育しかり、外国語教育しかり、様々な学習用アプリを早急に導入して児童の学習に活かしてほしい。 ○ 学校の規模により必要な事、必要なものが違っていても良いと思う。 ○ いじめのアンケートをAIが判定する仕組みがあるようだが、生徒が多い学校では、教員の負担軽減につながり検討の余地がある。 ○ いじめ対応のアンケート調査はすべての小学校で必要か疑問である。子どもの心情を十分に配慮したアンケート実施を行ってほしい。 ○ いじめ、虐待の対策について各学校の効果的なやり方にも期待したい。 ○ 就学援助費については、民生児童委員との連絡を密にして真に援助が必要なご家庭に援助できるように努めてほしい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ソフトウェア、学習用アプリの導入は急務。 ○ いじめ対応のアンケートは、有効な手段であるが、学級づくりを推進することによって、いじめや不登校が起こらない状況をつくる必要がある。 ○ いじめは常に問題となっているが、その内容も時代によって変わってきている。スマートフォンやタブレットの所持年齢が低くなっているため、SNSでのいじめも多いと聞く。教員や親が気づきにくいところでいじめが発生している場合もあり、長期間苦しむ子どももいるのではないだろうか。保護者には使用方法や注意の研修など何回も行うべきであるし、教員も子どもたちへの声掛けや情報収集を徹底してほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名	中学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	18,095	決算額	17,326	財 源 内 訳			
				特定財源	526	一般財源	16,800

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立中学校4校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。

いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。

経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 9,417 千円
 - 教育用教材 3,129 千円
 - 教育用指導書 5,241 千円
 - その他備品等 1,047 千円
- いじめ対応支援事業 205 千円
 - アンケート検査用紙の購入
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 7,704 千円
 - 就学援助費 7,666 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 38 千円



クラシックギター（音楽）



アネロイド気圧計（理科）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

中学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。

生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。

経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。

(2) 今後の課題

ICT機器の活用においてハード面の整備は進めていますが、一部を除いてソフトウェアの導入・活用には至っていません。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名		中学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材備品は子どもたちにとって授業の興味関心を高める重要な物品である。各学校においては有効に活用してほしい。また、教師用指導書においても子どもの学力向上のために有効に活用してほしい。 ○ 学習指導要領の改定にともない、教育用指導書の購入は必要な整備であるが、その他の教材購入に本当にしわ寄せが出ていないか懸念される。 ○ ソフトウェアやアプリについては、日々新しく便利なものが出てきており、先進校、先進的地域などは学習活動を充実させ、学力向上に活用されている。せっかく I C T 機器が整備されたところなので、有効活用に向けた取組を意図的に推進されることを期待する。 ○ 学校の規模により必要な事、必要なものが違って良いと思う。 ○ いじめのアンケートを A I が判定する仕組みがあるようだが、生徒が多い学校では、教員の負担軽減につながり検討の余地がある。 ○ いじめ対応のアンケート調査は、子どもの心情を十分に配慮したアンケート実施を行ってほしい。調査結果の活用についても学校内で共通理解の上で行ってほしい。 ○ 一方で予算を使っただけの効果が期待できるのか検証が必要と考える。 ○ いじめ、虐待の対策について各学校の効果的なやり方にも期待したい。 ○ 就学援助費については、民生児童委員との連絡を密にして真に援助が必要なご家庭に援助できるように努めてほしい。 <p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書改訂に伴う教育用指導書の整備は必須と考える。授業を行う上で、基本となる重要なポイントが記載されており、特に実験、実技等の指導においては事前に安全面、事故防止の点からも必読したい。 ○ ソフトウェア、学習用アプリの導入は急務。 ○ いじめ対応のアンケートは、有効な手段であるが、学級づくりを推進することによって、いじめや不登校が起こらない状況をつくる必要がある。 ○ いじめは常に問題となっているが、その内容も時代によって変わってきている。スマートフォンやタブレットの所持年齢が低くなっているため、SNSでのいじめも多いと聞く。教員や親が気づきにくいところでいじめが発生している場合もあり、長期間苦しむ子どももいるのではないだろうか。保護者には使用方法や注意の研修など何回も行うべきであるし、教員も子どもたちへの声掛けや情報収集を徹底してほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 9
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
予算額	77,604	決算額	76,628	財 源 内 訳			
				特定財源	61,782	一般財源	14,846

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

学校給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健全な心身を育むために、美味しく魅力ある給食を提供します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

● 給食種別決算額		● 提供人数：人／日	
主食（米・パン）	6,898 千円	小学校	7校 787
副食（その他）	57,511 千円	中学校	4校 369
牛乳	12,219 千円	養護学校	1校 26
計	76,628 千円	給食センター	17
		計	1,199
● 給食提供数：食／年		● 牛乳提供数：個／年	
小学校	148,997	小学校	146,509
中学校	66,620	中学校	65,126
養護学校	4,466	養護学校	4,406
給食センター	3,323	給食センター	611
計	223,406	計	216,652

- ふるさと給食
地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。



ふるさと給食のメニュー

地元産のアラメとブリを使用した炊き込みご飯です。

- 地産地消の推進
給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。
令和3年度地元産野菜使用率 22.00%（令和元年度 16.80%）・米使用率 100.00%

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。
地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。
隠岐産魚介類を給食に取り入れ、児童・生徒の魚食及び漁業への理解を深めることができました。
- 子育て支援策として給食費公費負担を実施、保護者負担軽減に資することができました。
- (2) 今後の課題
事業運営財源である給食費の未納額を大幅に減らすことができましたが、依然として未納者が発生しており更なる徴収強化が必要です。
また引き続き食材費が高騰していることから、安定した食材確保のため発注やメニューの創意工夫が重要です。地場産物使用についても、必要量が安定して確保できるよう関係機関との連携が重要です。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 9
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産物を取り入れたふるさと給食や、隠岐産魚介類を取り入れる等、食育の面からも意欲的に取り組んでいる。 ○ 一日に1,200食もの学校給食を安全に定刻に学校に提供しており、調理場の取組に敬意を表する。 ○ 本町の給食は、米も副食もおいしく大変評判が良く、成長期にある子どもたちにとって大きな役割を果たしている。 ○ 残飯も「ほぼない」ということで、児童生徒にとっても楽しい給食となっていると思う。今後も地場産物の使用率を上げながら、よりおいしく魅力ある給食の提供に努められることを期待する。 ○ 給食費の一部公費負担を行っていることは、子育て世代の保護者にとって経済的な支援となる。コロナ禍の財政困難な状況だと思うが今後とも保護者の給食費負担軽減について検討してほしい。 ○ 衛生管理や異物混入予防について、続けて委託業者への指導を徹底すること。 ○ 給食費滞納者に対しては、保護者と協議の上、無理のない返済計画をつくり、少しずつでも徴収するよう努めること。 ○ 食材費の高騰による対応について、検討を要する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地元食材の使用率が増えていて評価できる。毎月の給食だよりの内容が栄養士の思いが感じられて楽しみ。 ○ 給食センター（ふるさと給食、行事食等）と町（給食費の負担）の努力を保護者や町民にもっと知ってもらおう工夫をしたい。 ○ 食材費、燃料費などの高騰が著しい中、未納額を減らすなど工夫を重ねながらバランスの取れた給食を提供して頂いていることは評価できる。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 10
事業名	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業					社会教育課	
予算額	2,572	決算額	2,572	財 源 内 訳			
				特定財源	2,500	一般財源	72

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、島外遠征に係る渡航費用を助成します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
 交付決定者数（延べ人数）：1,111人

交付決定者数の過去3年間の推移 (人)

	R1	R2	R3
小学生	837	474	815
中学生	420	334	296
合 計	1,257	808	1,111

交付金額総計の過去3年間の推移 (円)

	R1	R2	R3
合 計	3,387,240	2,068,230	2,571,332

【補助対象】

島外で開催される大会（全国規模の大会を除く。）、交流・練習試合などの島外遠征に係る渡航費

【補助金額】

航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成

小学生（西郷～本土間）3,020円以内
 （西郷～島前間）1,980円以内

中学生（西郷～本土間）6,040円以内
 （西郷～島前間）3,940円以内



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

利用人数や補助交付額は、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により減少しておりましたが、令和3年度には大幅に増加しました。活動内容では、大会だけでなく、練習試合、合同練習など、本土での活動の幅が広がっており、町内の多くの団体がより活発な活動を行うことができました。

(2) 今後の課題

児童生徒の活発な活動をより一層支援することが求められており、令和4年度からは新たに指導者の渡航費補助を実施しています。今後も事業の実施状況を確認し、状況に応じて制度の見直しを検討していきます。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 10
事業名	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちのスポーツ活動への意欲や技能の向上とともに、社会性の発達やマナーアップの面にも好影響をもたらすと思われる。 ○ 離島の子どもたちにとっては意義ある事業であり、この事業を使って、幅広い経験を積んでほしいと思う。また、継続した支援をお願いしたい。 ○ 令和4年度から指導者の渡航費補助がスタートし評価するとともに、より充実した事業になることを期待する。 ○ 今後も宿泊費の補助等、補助対象の拡大や限度額の上限の見直しも含め、ニーズに合った事業になるよう期待する。 ○ 補助金の交付については、各団体により実態が異なるが、遠征の回数や参加人数などの制限が交付要綱に示されていないので、不公平感もたれないような予算執行に配慮する必要がある。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 ○ この助成金で対外試合の機会が増えるだけでなく、団体行動や船、宿泊先でのマナーなど多くのことを学べ、成長につながると思う。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 11
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	3,356	決算額	2,998	財 源 内 訳			
				特定財源	1,996	一般財源	1,002

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業

放課後子ども教室 2,374 千円

放課後サポーターを配置し放課後の子どもの居場所の確保

学校支援事業（地域コーディネーター活用事業謝金） 608 千円

家庭支援事業 16 千円

小中学校入学前に「親学講座」を実施

令和3年度 放課後子ども教室実施状況

地区	教室名	開催日	開催場所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (登録人数)	登録 児童数
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	26	807	7	69
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	27	1,085	5	50
有木	まにの広場	月・金	有木小学校	55	804	4	28
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	29	309	4	34
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	33	346	9	22
五箇	学センわくわく広場	月・水	五箇生涯学習センター	53	1,831	5	61
都万	遊びと学びの広場	月・木	都万小学校・都万公民館	34	722	5	33
合計				257	5,904	39	297

※登録人数は、令和3年度最終日時点のもの

【活動写真】



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

地域・学校・家庭の連携協働を図り、地域総がかりで子ども達を育成する環境の構築を図っています。放課後子ども教室では、地域のサポーターを活用し、子どもたちが放課後に学習や体験活動を行うなど安心・安全に過ごせる居場所づくりとして成果をあげています。また、学校支援事業では、学校サポーターによる授業支援により教育活動の推進が図られました。

(2) 今後の課題

子どもの体験活動における指導者や放課後サポーターなど地域人材の確保と育成が必要となっています。また、学校と地域をつなげる取組をコーディネーターと学校担当者が一緒になって取り組むよう働きかけが必要となっています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 11
事業名		結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室は、各地区の実情に応じて創意工夫しながら、子どもたちが放課後に安心・安全に過ごせる居場所づくりに大きな成果を上げており、小学生にとって有意義な時間となっている。 ○ 子育て世代の保護者としては、とても助かっていることと思う。 ○ 今後さらなる充実に向けて、サポーターの確保とともに、サポーターの自主性に頼った部分が見受けられるので報償費の増額についても検討する必要がある。 ○ 若い世代が仕事をしながら安心して子育てできる環境があるということは、隠岐の島町の魅力にもなり、移住者増のきっかけにもなり得る。そういった点から、ニーズを把握して検証されてもいかもしれない。 ○ 開催日を増やす、時間の柔軟さ、地域おこし協力隊との連携、塾機能の可能性（オンラインでの学習サポートとか）等、子どもや保護者に寄り添ったよりよい事業の在り方を検討してほしい。 ○ 地域コーディネーターから支援内容などのアドバイスをもらい、地域に開かれた学校教育の充実強化に期待したい。 ○ 家庭支援事業の「親学講座」は、保護者にとって有意義な事業である。予算の増額とともに講座内容のさらなる充実に努めてほしい。 ○ サポーターやコーディネーターを含め地域の人との連携を取った子育て支援を推進してほしい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 ○ 放課後子ども教室は、児童数の多い西郷小学校区は他の地区に比べて、開催日数、利用児童数共に少なく保護者の要望に応えられているか心配。 ○ 親学講座は、保護者同士の交流も含め、大切な事業だと思う。入学前だけでなく、年に1回程度あっても良いのではないかと思う。また、家庭教育の原点も掘り下げた事業展開に期待する。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 12
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
予算額	102,070	決算額	102,045	財 源 内 訳			
				特定財源	82,109	一般財源	19,936

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

隠岐島文化会館を適正に管理運営し、多様で質の高い町民の芸術文化活動の環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 19,869 千円
隠岐島文化会館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》 [単位：人]

年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
延べ人数	35,514	36,282	33,926	30,479	19,769	18,537

指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)

○鑑賞事業

- ・映画上映 (4作品 各2日間) 入場者数：延べ 1,366人
- ・山陰フィル隠岐楽コンサート 入場者数：91人



それ打て 響け！ 今福座in隠岐 (10/2)

○育成事業

- ・青少年人材育成事業
大ホール事業に対するボランティアスタッフの育成

○芸術文化支援事業

- ・芸術文化支援事業
大ホールを利用した事業の支援 (11回)

○地域活性化事業

- ・隠岐ゼミ (講演会1回)
- ・文芸隠岐発刊事業
- ・夏休み大ホール体験
児童生徒を対象とした大ホール機材の体験事業
- ・島根県公立文化施設協力事業
県内公立施設と連携した舞台鑑賞 (3回)
入場者数：延べ364人



オペラ舞台衣装を作ろう！ (11/3)

○展示・文化情報提供事業

- ・文化活動の発表の場として、コミュニケーションホール等で絵画などの作品を展示。

●隠岐島文化会館大ホール照明設備改修工事

82,176 千円

舞台照明機器のLED化及び配線の取替

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

指定管理者の実施事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった事業もあり、利用数も減少傾向にあります。本町の芸術・文化の核となる施設として、町民から利活用されています。また、大ホール照明のLED化工事では、舞台芸術における利用者の表現の幅が広がることとともに節電効果も期待できることとなりました。

(2) 今後の課題

築約40年を迎える施設であるため経年劣化および機材の更新等、施設の老朽化が進んでおり、令和4年度に策定する社会教育施設長寿命化計画を踏まえた、計画的な修繕が必要となっています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 12
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍ということもあり、イベント等の制約が多い中での管理・運営は、難しい面も多々あったことと思う。職員も少ない中、施設管理で手一杯のところもあるかもしれないが、様々な事業を実施し利用促進に努めている。 ○ 指定管理者の実施した事業は、年々充実しているように思う。今後とも、町民のニーズを把握するとともに、町民の文化芸術活動の普及振興において何が必要かを見極めて事業を計画していただきたい。 ○ 町民の各種同好会に利活用されており、文化会館としての役割を果たしていると思われるが、コロナ禍とはいえ、施設の利用が年々減少している。この原因について分析し対策を講じる必要はないか検討を要する。 ○ イベントスケジュール、利用希望者のWeb予約等ホームページの充実を図れば、もっと利用しやすくなるを考える。 ○ 文芸隠岐の発刊は、多くの町民の寄稿に支えられ、年々充実している。 ○ 指定管理者においては、隠岐の文化芸術振興や利用促進のための計画策定について、検討をお願いしたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 13
事業名	保健体育活動補助事業					社会教育課	
予算額	4,979	決算額	4,877	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	4,877

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 隠岐の島町体育協会補助金 3,948 千円
8大会を開催 8地区体協へ補助金交付
- 隠岐郡陸上競技協会法令外負担金 929 千円
(隠岐高等学校陸上競技公認グラウンド認定のための負担金を含む)

〔隠岐の島町体育協会活動写真〕
全隠岐駅伝競走大会



親子交流イベント「スポーツ鬼ごっこ」



隠岐の島町バドミントン選手権大会



全隠岐柔道選手権大会



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

令和3年度に隠岐の島町体育協会の事務を隠岐の島町教育委員会から（公財）隠岐の島町文化振興財団へ移管し、各種スポーツ団体との連携を強化し、スポーツ活動の推進を図りました。隠岐の島町体育協会の事業は予定されていた15大会のうち7大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、8大会については、感染症対策を取りつつ実施することができました。

(2) 今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止となった各種大会の開催に向け、隠岐の島町体育協会等の各団体との一層の連携強化が必要となっています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 13
事業名	保健体育活動補助事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種スポーツ団体や地区体育協会への補助金は、社会体育の振興に役立っている。 ○ コロナ禍ということもあり、約半数の大会が中止され事業展開が難しい面も多々あったことと思う。各団体それぞれで努力していると思うが、連携を強化する中で、社会体育活動が活発になるよう支援に努めていただきたい。 ○ 体育協会の事務移管によって、各大会の運営に支障が生じないよう財団事務局や教育委員会及び関係機関の連携や協力体制を密にしてほしい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 14
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	25,899	決算額	25,836	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	25,836

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化を図るための環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 24,535 千円

総合運動公園及び総合体育館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》

隠岐の島町総合運動公園 [単位：人]

年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
延べ人数	6,483	4,898	5,150	3,890	4,301	4,616

隠岐の島町総合体育館 [単位：人]

年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
延べ人数	32,928	31,325	34,224	30,569	24,850	29,858

指定管理者による主な実施事業 ((公財) 隠岐の島町教育文化振興財団)

○スポーツ・体育活動支援事業

・レインボーアーリーナ杯 (2大会開催) 参加者数：57名

○地域活性化事業

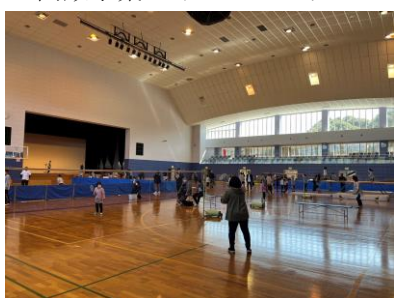
・スポーツ教室 (8種目10教室) 参加者数：延べ4,789人

・生涯スポーツ体験事業 参加者数：45名

・夏・冬休み複合型子ども教室 参加者数：66名

・ニュースポーツ体験会 (2地区) 参加者数：37名

・開放事業レインボーアーリーナの日 参加者数：144名



開放事業レインボーアーリーナの日



生涯スポーツ体験事業

●総合体育館便座取替工事 616 千円

温水洗浄便座 5 台、暖房便座 4 個の取替

●その他経費 685 千円

体育館可動席調査498千円／道路外灯修繕162千円／運営会議開催費25千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町の社会体育、生涯スポーツの拠点施設として様々な団体に活用されています。さらに、指定管理者による様々な体験教室なども実施され、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数も改善傾向にあります。また、設備改修により安全で快適な施設環境を利用者に提供することができました。

(2) 今後の課題

生涯スポーツ推進のため、指定管理者とより一層連携を密にし取り組んでいくことが必要となっています。また、築約20年をむかえる施設であるため、経年劣化および機材の更新等、施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 14
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動公園や総合体育館は様々なスポーツ活動の場として利活用されており、町民の健康体力づくりやコミュニティーづくりに貢献した。 ○ 利用者増に向けて、体験教室の実施等、工夫している。施設設備の老朽化への対応も計画的に行い、さらなる利便性の向上に努めてほしい。 ○ 町民の生涯スポーツに対する興味関心を高めたり、生涯スポーツ人口の拡大を目的として町の生涯スポーツフェスティバルを年1回でも一斉開催したらどうか。 ○ ホームページから予約できるようにしたり、予約状況が3ヶ月～半年先まではわかるようにしたり等、情報化社会・デジタルシフトの時代にも対応できるようにすることも検討してほしい。 ○ 利用料金の適正化（高くて利用しづらいとか、安くて管理維持が難しいとか）についても課題があれば検討されてみてはどうか。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 ○ 総合運動公園のナイター照明の更新時にイベントを企画したり、民間団体のイベントの際も柔軟に対応と協力しており、評価できる。 ○ 場所も環境も良いので、スポーツに限らず様々なイベントの企画を望む。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 15
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	38,627	決算額	38,521	財 源 内 訳			
				特定財源	29,524	一般財源	8,997

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

屋内温水プールを適正に管理運営し、体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図り、町民の健康増進を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 8,712 千円
 隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を指定管理者である(株)MIしまねが行いました。

《施設の利用状況》 (延べ人数)

年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
ビジター利用	3,952	4,240	4,492	4,570	2,672	3,181
会員利用	32,136	29,155	35,591	35,821	29,979	33,939
教育機関利用	1,508	1,512	1,466	1,455	1,170	962
その他利用	742	944	913	1,152	457	576
合計	38,338	35,851	42,462	42,998	34,278	38,658

【水泳指導の様子】



【チラー実施完成写真】

- 温水プールチラー更新工事 29,508 千円
 熱源機器（チラー）3台の取替
- その他経費 301 千円
 修繕費 269 千円
 （濾過ポンプ・窓ガラス）
 運営会議開催費 32 千円



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町の健康増進の中核施設として幅広い年齢層に活用されています。新型コロナウイルス感染症により令和2年度から利用者数が減少しましたが、指定管理者の創意工夫によるスタジオを活用した独自事業等により、令和3年度は、改善傾向にあります。また、設備改修により安全で快適な施設環境を利用者に提供することができました。

(2) 今後の課題

施設の老朽化が進んでおり、令和4年度に策定する社会教育施設長寿命化計画を踏まえた、計画的な修繕が必要となっています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 15
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタジオを活用したヨガ教室等、独自に工夫して成果を上げている。令和3年度は利用者も増加しており、指定管理者の経営努力を評価したい。 ○ 今後も施設の長寿命化と並行しながら、町民の健康増進のため引き続き改善に努め、更なる利用者の拡大に尽力してほしい。 ○ イベントスケジュール、利用希望者のWeb予約等ホームページの充実を図れば、もっと利用しやすくなると考える。 ○ チラーの更新にはかなりの予算を費やしたが、これにより利用者は安心・快適に水泳に取り組むことができた。 ○ 町民の健康増進を図るため、利用者の負担軽減を図るなど利用者の増加につながる施設になることを期待する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 16	
事業名		隠岐の島町図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	45,773	決算額	45,640	財 源 内 訳				
				特定財源	2,000	一般財源	43,640	

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、蔵書・資料の充実に努めるとともに、学校や地区公民館など関係機関と連携を図りながら、住民の読書環境の整備を進めていきます。「隠岐の島町図書館振興計画（平成30年12月公開）」の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めていきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 隠岐の島町図書館管理運営事業 38,203千円
 [事業費内訳] 図書館指定管理料 34,087千円
 隠岐の島町図書館の管理運営を指定管理者である（公財）隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。
 事務費（図書システム経費、ブックスタート絵本 他） 4,116千円
 ・年間入館者数 45,705人（前年比+4,220人）
 ・貸出冊数 63,952冊（前年比+5,126冊）

- 図書館運営委員会開催費 61千円
 運営委員会の開催（6/5, 11/24）委員10名

- 図書館資料費 6,969千円
 [資料費内訳] 書籍、雑誌、新聞 5,770千円
 AV資料 1,199千円

- 図書館施設整備事業 407千円
 網戸改修



昔のチラシ展 7/3～8/29



課題解決支援事業(認知症関連事業)
9月～11月



特集本コーナー(毎月更新)

【3. 事業の成果及び課題】





- (1) 事業の成果
 コロナ禍にあっても貸出冊数は前年度より増加し、利用者が戻りつつあります。
- (2) 今後の課題
 「隠岐の島町図書館振興計画」の数値目標に基づき計画的に蔵書等の整備を行っていますが、蔵書新鮮度やDVD所蔵数等、数値目標を達成していない部分があるため、令和5年度以降の予算要求時に留意する必要があります。
 郷土資料アーカイブ事業を平成29年度から令和3年度まで5年間実施し多数の資料をデジタルデータ化しましたが、未着手の資料も多く継続した取り組みを要します。また、これらの資料を広く活用できるように、公開に向けた仕組みづくりと作業が必要です。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 16
事業名		隠岐の島町図書館管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町民の生涯学習の場として、落ち着きのある温かい雰囲気のある図書館となっている。入館者数や図書の貸し出し数も増加傾向にあり、概ね健全な図書館管理運営をしていると思う。 ○ 蔵書新鮮度等、数値目標に対しては達成できていない理由を明確にし、今後計画的に取り組んでほしいと思う。 ○ 座席数が少なくゆっくり座って読書できないことがある。読書スペースがもっとほしい。研修室は空いているときには入室許可が必要だが、自由に入って読書などできるような態勢にしてほしい。 ○ 郷土資料アーカイブ事業は、郷土の歴史的文化的な資料の保存と町民の生涯学習の充実向上に大きく貢献するものと考える。 ○ 令和4年度から町の直営になったということで、新たな企画等で利便性を向上させているという話も聞きくが、町民誰もが利用したくなる図書館づくりを進められるよう期待する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 展示コーナーで年間通じて様々な展示がされ、入館者数の増につながることで、図書館がより身近な施設となることを期待する。 ○ 兼ねてより、「よるとしよ」などのイベントが開かれて好評を得ていたようだが、今年度は町の事業者と連携して販売などにも取り組まれ、話題を呼んでいる。工夫された展示、イベントなど、町民のニーズに沿った催しが評価できる。 ○ 学校図書との連携を深めながら、「本との出会い」を、子どもたちや町民が楽しめるよう益々の工夫に期待する。 ○ 島内の一般家庭に眠る古い資料（古文書・映像・写真・チラシや過去の町報などの町の歴史が分かるものなど）、現存のものを掘り起こし集積していくといいのではないかと。 ○ 「図書館は本を借りて静かに読む場所」という概念を変えるような場所にしてほしい。町民が集い、賑やかに過ごす場所になっても良いと思う。中高生など若い世代が休日に行くところが少ない中で図書館に集まり、オープンテラスでお茶を飲みながら、雑誌を読み、少し歩いて西町を散策しながら過ごす。定期的にイベントがある文化会館と隣接しているので、待ち合わせや時間つぶしに利用したくなるような町のフォーラムになってほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 17
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	21,497	決算額	19,577	財 源 内 訳			
				特定財源	10,596	一般財源	8,981
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円) 文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とします。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●牛突き習俗保存対策事業 10,209千円 <ul style="list-style-type: none"> ・突き牛導入費補助金（20件） 8,689千円（導入費の2/3、上限なし） ・突き牛処分費補助金（16件） 1,120千円（処分1頭につき、7万円） ・大会出場費補助金（40件） 400千円（出場牛1頭につき、1万円） ●無形民俗文化財補助金交付事業 2,508千円 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の指定無形民俗文化財保持団体に年間活動費のうち対象経費の1/2を補助（交付実績：18団体内中12団体） ●「隠岐の文化財」発刊事業 819千円 <ul style="list-style-type: none"> ・隠岐4町村の教育委員会合同で「隠岐の文化財」第39号を発刊しました。 ●指定文化財説明看板設置事業 741千円 <ul style="list-style-type: none"> ・町内指定文化財の説明看板を計画的に新設・更新します（英語解説併記）。 <p>【R3に看板設置を行った文化財】 佐々木家住宅、沖島オオミズナギドリ繁殖地、牛突き習俗、光山寺跡、玉若酢命神社関係</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>沖島オオミズナギドリ繁殖地（白島海）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>牛突き習俗（隠岐モーモードーム）</p> </div> </div> ●埋蔵文化財調査事業 3,884千円 <ul style="list-style-type: none"> ・久見地区民家裏の急傾斜対策工事に先立ち、「久見小学校裏横穴群」の発掘調査を行いました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>発掘前の横穴墓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>発掘後の横穴墓</p> </div> </div> ●その他事務費 1,416千円 <p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 町内の指定文化財に対し補助金を交付することにより、文化財の保存・継承に繋がっています。特に牛突き習俗では、若い世代の飼い主もみられるようになってきました。埋蔵文化財の調査結果を、報告書に記録保存することにより、開発行為によりやむなく消失する遺跡の情報を保存することができました。</p> <p>(2) 今後の課題 コロナ禍で中止・延期の相次いでいる伝統行事などの無形民俗文化財について、保存継承がなされるよう援助していく必要があります。</p>							

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 17
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保存のためにも継続してほしい事業。コロナ禍で中止されていた御霊会風流や牛突き等、少しずつ再開された行事を見ると、目的である「町民の郷土に対する認識を深める」という意味合いもあると思うが、郷土の貴重な歴史的遺産として守り伝承してほしい。 ○ 牛突き習俗は、町の貴重な歴史的な遺産であり、また本町の大切な観光資源でもあり、補助金の継続をお願いしたい。 ○ 無形民俗文化財補助金は地域の民俗や地域特有の文化の継承にとって必要な補助金であり継続して援助したい。 ○ 指定文化財説明看板の設置は、町民や観光客が島の歴史や文化を学ぶ上で効果的であり、今後とも計画的に新設していただきたい。 ○ コロナ禍で中止・延期となった伝統行事は、ジオパークを中心に観光を強化する上で貴重なコンテンツとなる。 ○ 保存継承がこの事業形態で有効であるのか、より活性化していくための方策はないのか、観光と結び付けるための整備の必要性等、後継者の問題も含め、広い視野で検討を進められることを期待する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 ○ 町の文化財は歴史の継承であると同時に観光資源でもあるので大切に保存してほしい。 ○ 牛突きは、今年の夏場所大会では帰省客も多く訪れたと聞いている。観光客も町民も楽しめるイベントであると思うので、補助金の継続とPRを続けてほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 18
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	55,514	決算額	54,909	財 源 内 訳			
				特定財源	53,565	一般財源	1,344

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

国指定重要文化財建造物佐々木家住宅を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とします。

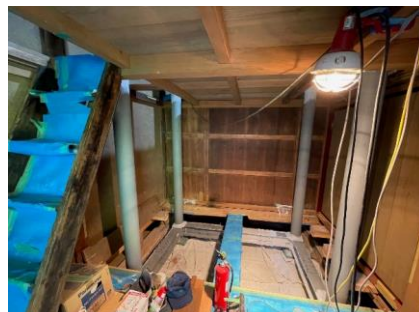
【2. 主な事業の概要（実績）】

- 管理運営事業 1,509千円
例年は通年の公開(12～3月は休館)をしていますが、保存修理工事のため9月から閉館としました。
 - ・管理清掃費(163日)受託者：3名 973千円
 - ・光熱水費・設備維持費 他 536千円
 - ・年間入館者数：516人(前年比▲570人)
 - ・年間入館料：149千円(前年比▲167千円)

- 保存修理事業(R3～R4 国庫補助事業) 53,400千円
前回、平成13年の解体修理工事から約20年が経過したため、古くなった屋根の杉皮を葺き替え、耐震のための補強工事を行いました(令和4年度も継続して行う)。
 - ・保存修理工事一式(杉皮屋根葺替、耐震補強など) 46,772千円
 - ・設計監理委託料 6,628千円



杉皮屋根葺き替え後



耐震補強の鉄骨設置状況



小学校の工事見学会

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

今後も永く佐々木家住宅を保存公開していくために、保存修理事業を行いました。事業は令和4年度も続きますが、再び公開を開始する際には神楽公演のイベントを行うなど、佐々木家住宅の周知、活用に力を入れていきます。

(2) 今後の課題

保存修理には多額の経費が掛かることから、更に多くの入館者に来館していただけるよう、各種イベントや見学会、普及事業を行う必要があります。また、本町の文化を伝える文化財として教育的活用が増えるよう、佐々木家住宅の文化財的価値を関係各所に周知していかなければなりません。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 18
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町民は、佐々木家住宅の文化財的価値をあまり理解していないのではないか。佐々木家の歴史的・文化的な価値を広く周知されることを望む。 ○ 修復工事が終わったら、当家において、神楽や和楽器の演奏会など様々なイベントを企画し、当家に対する興味関心を高めていただきたい。 ○ 保存修理の間中も小学生が学習に訪れたということで、貴重な学びの場になっていると思う。隠岐の島にとっては貴重な文化財の一つであるので、今後も小学生のふるさと教育の一環として活用するよう期待したい。 ○ 保存修理が終わり、今後はいかに管理・活用していくのか問われる。ただ単に地域に託すだけでなく、より文化的価値を高めるためにも観光の名所となるよう、広くアイデアを募ることも考えられる。学校・観光協会・地域・行政・民間・地域おこし協力隊などと連携して活用策を検討することも考えてみてはいかがか。 ○ 入館料について、町民については、島民割引など低価格で見学できるよう検討してほしい。また、シーズンオフにはゆっくりと休憩できるように喫茶（有料）などでもあれば入館者も増えるのではないか。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 19
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
予算額	3,847	決算額	3,159	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	3,159

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●公民館分館活動費（西郷地区41分館） 決算額 2,583千円



- ・各分館活動を行うため活動費を支援しました。
- ・来年度から地域活性化交付金と統合されることから、分館連絡協議会で説明会を行いました。

●まちづくり活動推進費



決算額 488千円

- ・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。
 - ・生活環境・ひとづくりの2部会で活動をしています。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントを直前に中止。（3×3バスケットボール隠岐フェス&隠岐の島eスポーツ選手権・エコフェスタ）

●中央公民館活動費
(燻製体験)



決算額 88千円

- ・青少年、家庭教育など各方面の講座や事業を実施しました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、屋外や、人数制限付きの講座（国際交流に関する講座、アウトドア講座（燻製）、プログラミング講座等計20講座を開催し、キャンセル待ちが出る講座もあり、次回の講座についても町民の皆さんのニーズに応えられるよう努力したい。
- ・高齢者講座は、あけぼの教室として、自主運営により事業の実施ができるよう支援しました。
 - ・放課後子ども教室は、公民館が西郷小学校、磯小学校を担当し、実施しました。

(秋風ウォーク)



(あけぼの教室)



(放課後子ども教室)



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

分館連絡会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会を遅れて開催しましたが、来年度から地域活性化補助金と統合されることから、コロナ禍の中で実施できる分館活動の助言・支援を行いました。住民の方々のニーズをとらえながら、様々な講座や事業を企画しました。過去最高回数となる20講座を開催できた。今後多くの方が気軽に公民館に立ち寄れるよう公民館全体で取り組みます。また、まちづくり運動協議会を通して、住民参加によるイベントを企画したものの、実行委員会の判断基準に従い、開催一週間前に町内で感染者が確認されたため、中止となり残念であった。また、高齢者学級「あけぼの教室」は開催回数は減ったものの、島後清掃センターの現地視察研修など幅広く活動し、「まなぶ、つどう、つなぐ」機会を提供できたことが社会教育の一助となりました。

(2) 今後の課題

新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントの開催が出来ませんでした。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を引き続き、考えていかなければなりません。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況にあります。開催日程や企画等で綿密な打ち合わせが必要であります。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 19
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍ではあるが、町民のニーズを把握し、工夫しながら講座の企画・運営にあたっている。 ○ 過去最高となる20講座を開催されたこと、中央公民館スタッフの意欲的な取組を評価したい。 ○ まちづくり運動協議会と連携協力し、生活環境部会とひとづくり部会の活動を当中央公民館が中心となって実施していることを評価する。 ○ あげぼの教室を自主運営することにより、会員のニーズや意欲を大切にしながら楽しく有意義な活動となった。 ○ コロナ禍や猛暑などにより子どもたちの戸外活動が減少している。公民館においては時期や開催地などを考慮し、自然体験や社会体験の場を積極的に企画されたい。 ○ 今後、社会情勢の変化等にも柔軟に対応しながら、新しい公民館の在り方についても示していただきたい。特に、全ての世代のニーズへの対応や、世代を越えてつながる場の提供等、「まなぶ、つどう、つなぐ」がさらに進むことを期待する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中央公民館は町全体と西郷地区の2本立ての活動支援で苦勞も多いと思う。西郷地区は分館数が多く、地区によりニーズも異なるので各分館での活性化を期待する。 ○ コロナ禍や猛暑により、長く続いてきたアドベンチャー教室などの実施が難しくなってきたのは残念だが、開催時期などを工夫しながら、隠岐の自然の中で人と関わりながら思い切り楽しむ体験を企画してほしい。そのことが、ふるさと学習やジオパーク学習にも結びつくものとする。 ○ eスポーツ、3×3バスケットボールなど若者が参加するイベント企画が評価できる。 ○ 公民館と各分館が、町の課題解決など共通の講座を企画・開催することを期待する。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 20
事業名	公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-					布施公民館	
予算額	1,178	決算額	845	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	845

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 公民館分館活動費（布施3分館・中村9分館） 決算額 594千円

- ・各分館活動を行うため活動費を支援しました。
- ・コロナ禍により分館長会議が開催できなかったため、各分館を個別に訪問し情報交換を行いました。

- 布施地区館活動費 決算額 140千円

- ・コロナ禍で活動に制約がある中、他館とも連携の上、活動の仕方を模索しながら、各種講座・教室、立志式、その他活動を行いました。
- ・学校支援地域本部事業、放課後子ども教室など、公民館が実働となって実施しました。



室内グラウンドゴルフ体験会



しめ飾り



立志式

- まちづくり活動推進費 決算額 20千円

- ・まちづくり活動推進に寄与する花いっぱい運動への助成を行いました。

※浄土ヶ浦祭はコロナ禍により中止



花いっぱい運動



とんど焼き



布施手づくり作品展

- ふるさと自然体験活動費 決算額 91千円

- ・地域のボランティアの方と北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。



サマー合宿



*図書購入費等（隠岐の島町図書館の分室として新刊本を購入） 49千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各分館活動では、分館長会議を開催することはできなかったが、個別に活動内容や地域課題について話し合い、活動に活かすことができた。各種講座の開催については、コロナ禍ではあるが、感染防止対策を配慮し開催することができ、地域との連携が図られた。文化祭は共催の浄土ヶ浦祭は中止となったが、布施手づくり作品展に各種団体の作品を展示することで地域からの情報発信を行うことができ、他地域からも多数の方に来場していただくことができた。北小のサマー合宿については、コロナ禍により地域との交流を図ることは控え目となったが、布施地域での自然体験により、児童の郷土愛の醸成を図ることができ、地域の活性化にも寄与することができました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 20
事業名		公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-				布施公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍ではあるが、工夫しながら事業の企画・運営にあたっている。 ○ 布施・中村地区の子どもたちのふるさと自然体験は郷土を愛する心の育成に大いに貢献した。地域の方々と共に次年度以降も継続していただきたい。 ○ まちづくり活動の各行事は、布施地域のコミュニティーづくりに大きく貢献した。 ○ 各分館を個別訪問して情報交換に努める等、丁寧な対応が見られる。 ○ 「放課後こども教室」や「ふるさと自然体験活動」等、積極的に地域の子も達を支え、郷土を愛する人材育成という視点を大切にしていることが伝わってくる。 ○ 次世代の参加意欲を高めることが課題に挙がっているが、世代間のつながりやニーズの把握等、丁寧にかつ大胆に新しいスタイルを模索してほしいと思う。 ○ すでに行われているかもしれないが、布施・中村地区における地域課題について具体的に取り上げて、その解決のための行動計画を各地域で話し合い樹立していく取組が地区公民館に求められるのではないかと。 ○ 管轄区域が布施と中村の2地区となっており、地区公民館活動のさらなる充実のため職員体制を2名から3名になるよう検討願いたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数多くの事業を行っており、活動が活発になっていると感じられ評価できる。 ○ 立志式など伝統ある独自の活動を継続しながら、さらに年末のイルミネーションや体験活動など、新たな事業にも取り組まれ、世代間の交流が出来る工夫も実施された。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 21
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
予算額	1,420	決算額	1,033	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,033

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●公民館分館活動費（11分館）

決算額 788千円



- ・各分館活動を行うため活動費を支援しました。
- ・分館長会議を行い、活動状況と補助金の変更について説明会を実施。

●まちづくり活動推進費（冬期体力づくり教室）

決算額 110千円

- ・第55回冬期体力づくり教室（寒稽古）では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に、一週間の計画で準備を進めましたが、中止となりました。

●幸齢者ふるさと学園活動費

決算額 80千円



- ・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。
- ・町内在住の60歳以上の方を対象に8回の教室を開催しました。

●講座開設費他
天体観測会

決算額 55千円



*図書購入費等（隠岐の島町図書館の分室として新刊本を購入）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

分館活動を促進するために、支援を行いました。高齢者事業は、高齢者自身が計画した事業を実施しました。昨年に引き続き、作品展示会を開催し、作品や活動の状況などをホール等に展示しました。天体観測会は小中学生向けに企画しましたが、結果、一般の参加者だけでありました。町立図書館と連携して県立図書館の図書の配本を図書室と五箇診療所及び久見診療所に配置し、利用される方の利便性向上を図ることができました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 21
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍ではあるが、工夫しながら事業の企画・運営にあたっている。 ○ 幸齢者ふるさと学園の活動は、隠岐全域の方を対象にし、多くの町民から支持されており、コロナ禍ではあったが、それを乗り越えて魅力ある活動を実施した。計画も実行委員会方式という魅力的な取組だと思ふ。 ○ また、地区を限定せず、各公民館それぞれの特色を活かした講座や企画は、どの公民館でも推進してほしい取組だと思ふ。 ○ 五箇地区の伝統的な事業である冬期体力づくり教室（寒稽古）は、コロナ禍で初めて中止となり残念であった。次年度の実施に期待したい。 ○ 五箇地区の図書館として五箇や久見の診療所への配本など運営について工夫し、住民の利便性の向上に努めた。 ○ 次世代の参加意欲を高めることが課題に挙がっているが、世代間のつながりやニーズの把握等、丁寧にかつ大胆に新しいスタイルを模索してほしいと思ふ。 ○ すでに行われているかもしれないが、五箇地区における地域課題について具体的に取り上げて、その解決のための行動計画を各地域で話し合い樹立していく取組みが地区公民館に求められるのではないかと。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動が活発になっていると感じる。 ○ 伝統ある独自の活動を継続しながら、さらに体験活動等、新たな事業にも取り込まれ、世代間の交流が出来る工夫も実施された。 ○ 伝統行事である冬期体力づくり教室（寒稽古）は継続実施を望む。 ○ 子どもたちが楽しく参加できるイベント企画が望まれる。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 22
事業名	公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-					都万公民館	
予算額	1,487	決算額	1,076	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,076

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 公民館分館活動費（都万12分館） 決算額 819 千円
- 都万青少年育成事業 決算額 58 千円
- 都万公民館活動費 決算額 199 千円



公民館講座 (写真教室)



体験教室 (親子で釣り体験)



体験教室 (梅収穫体験)



高齢者教室 (笑福館 開講式)



高齢者教室 (ボッチャ)



青少年育成会議
(島根スサノオマジック安部潤氏)



協働のまちづくり事業
(都万小学校デイキャンプ)



協働のまちづくり事業
(都万中学校デイキャンプ)

* 図書購入費等 (隠岐の島町図書館の分室として新刊本を購入)

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

- ・ 都万高齢者教室「都万笑福館」は元気な高齢者が集う良い機会の提供ができました。今後も継続する予定です。
- ・ 公民館講座は写真教室や体験教室などを行いました。地域で活動するグループと連携し、体験教室を行いました。参加者が少なく、課題が残りました。
- ・ 分館活動ができるだけ円滑に実施できるよう支援しましたが、各分館で新型コロナウイルス感染症の対応が異なり、全く活動できない分館もありました。
- ・ 協働のまちづくり事業の採択を受け都万小、都万中のデイキャンプを行いました。

(2) 今後の課題

新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントの開催が出来ませんでした。新しい生活様式に合わせたイベントや活動を引き続き、考えていかなければなりません。今後はウィズコロナを想定した講座を企画していかなければならないと感じています。

令和3年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 22
事業名	公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-					都万公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍のため、分館活動も含めて思うように事業の企画・運営ができず残念な部分もあったと思うが、地域に根差した様々な活動を行っており、都万地区の活性化やコミュニティーづくりに貢献している。 ○ 都万笑福館の活動は、様々な工夫がなされ多くの高齢者の参加のもと楽しく充実した教室となった。今後も高齢者がいきいきと活動できる場として定着するよう期待する。 ○ 協働のまちづくり事業は、郷土を愛する人材育成という視点からも大切な事業であり、今後も多くの地区の方々が関わっていただけるよう工夫してほしいと思う。 ○ 小中学校のデイキャンプは子どもたちの自然体験や生活体験を通して郷土愛を育む良い事業となった。 ○ 体験教室は、内容としては魅力的な講座なので、対象を他地区まで広げたり、広報の仕方を考えたり等、工夫しながら継続されるとよいと思う。 ○ ウィズコロナだけでなく、社会情勢も刻々と変化していく。若い世代にも親しまれる、10年20年先を見据えた都万公民館の在り方も模索してほしい。 ○ すでに行われているかもしれないが、都万地区における地域課題について具体的に取上げて、その解決のための行動計画を各地域で話し合い樹立していく取り組みが地区公民館に求められるのではないかと。 <p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動が活発になっていると感じる。 ○ 伝統ある独自の活動を継続しながら、さらに体験活動等、新たな事業にも取り組まれ、世代間の交流が出来る工夫も実施された。 ○ 高齢者向けの笑福館、小中学生向けのデイキャンプなど地域のコミュニティとしての役割を果たしている。今後も多世代が集う事業を企画してほしい。 							

※印の項目については、記載しないこと。